

都市対抗野球

マツゲン箕島敗れる

0-3 第4代表決定Tへ

近畿2次予選

第95回都市対抗野球大会近畿地区2次予選(日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催)が20日、大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで開幕した。14



【マツゲン箕島ー日本製鉄瀬戸内】五回裏日本製鉄瀬戸内2死一、二塁、向井の左前打で二塁走者・内倉が本塁を狙うもマツゲン箕島の堅守でタッチアウト(捕手・藤田幸)ー大阪市の大阪シティ信用金庫スタジアムで

チームが出場し、本大会(7月19日開幕、東京ドーム)の代表5枠を争う。第1日は1回戦3試合

があった。日本製鉄瀬戸内(兵庫県姫路市)はマツゲン箕島(有田市)を3-0で完封。日本新薬(京都市)は大和高田クラブ(奈良県大和高田市)に11-1で八回コールド勝ちした。パナソニック

(大阪府門真市)は県警桃太郎(兵庫県三田市)に10-4で快勝。勝者は2回戦に進み、敗者は第4代表決定トーナメントに回った。

【来住哲司、山口敬人、中田博維】

▽1回戦

マツゲン箕島

000000000000
0002100000X3
日本製鉄瀬戸内

(マ)奥田、山元、桜井、藤田幸(自)藤野、福井、二塁打 中山(マ)内倉(自)

日本製鉄瀬戸内は四回1死満塁で、中井の放った遊撃へのゴロが失策を誘って2点を先取。五回には佐々木の適時打で加点した。右腕・藤野は丁寧な投球

で7安打完封。マツゲン箕島は九回2死満塁など好機を作るもあと一本が出なかった。

気持ち切り替え

マツゲン箕島・西川忠宏監督 ミスをしたら負ける。あれ(四回)に失策で2失点)が大きかった。奥田はよく投げたが、右足をひねったようなので代えた。もう負けられない。気持ちを切り替えて総力戦で戦う。

紙面編集 新原成華